

第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会
第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会連合大会

開 催 要 項

- ◆会議名称： 第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会
第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会
- ◆会期： 平成 31 年 3 月 2 日（土）
- ◆会場： 名古屋大学大学院医学系研究科医学部基礎研究棟
〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
- ◆参加者数： 約 200 名
- ◆大会長： 松下 正
名古屋大学医学部附属病院 輸血部 教授 検査部 部長
- ◆参加費： 2000 円
- ◆主催・運営事務局：
第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会
第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会
主催・運営事務局代表 松下 正
運営事務局長 安藤 善孝
名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門
〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
TEL/FAX : 052-744-2611
Email : iippan@med.nagoya-u.ac.jp

大会長挨拶

平成 31 年 2 月吉日

会員各位

謹啓

向春の候、各位におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会 第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会を、平成 31 年 3 月 2 日（土）に、名古屋大学医学部基礎研究棟におきまして名古屋大学医学部附属病院検査部主幹で開催いたします。特別講演は、元内閣官房参与であり、元東京都立広尾病院院長・日本大学危機管理学部 客員教授の佐々木 勝先生をお招きし、「災害時の臨床検査を考える」としてご講演いただきます。2018 年は大変災害の多い年でしたが、東南海地震の発生が危惧される中、我々検査室が今何を準備しておくべきか、お話しを伺うことができると思います。さて本連合大会のテーマは、「テクノロジーの進展は検査医学をどう変えるか」としました。このテーマのもと、シンポジウムでは 3 名の先生にご講演いただく予定です。次世代シークエンサーを用いた遺伝子診断とキメラ抗原受容体遺伝子改変 T(CAR-T)細胞療法、人工知能技術を用いた医療支援、マイクロ・ナノメカトロニクスと、今現在進行形の最先端の情報を学べると思います。なお、本シンポジウムは、臨床検査専門医更新のための講習会として認定されております。

ランチョンセミナーは、アボット Alin IQ と理研ジェネシスのゲノム医療の取り組みについて最新の話題を提供していただきます。展示会場では、4 社の機器試薬展示を予定しております。空いた時間に自由に見学質問していただき、機器試薬セミナーとして簡単なプレゼンも企画しております。是非、新しい情報を得ていただければと思います。

多くの一般演題のお申込みをいただきまして、まことにありがとうございました。演者、座長の方々には、宜しく願い申し上げます。

最後に、本大会を開催するにあたり、多くの企業から協賛を頂戴いたしました。この場を借りて御礼申し上げます。年度末の開催ではありますが、お一人でも多くの皆様に本大会にご参加いただき、臨床検査の発展に向けて、将来展望など情報交換する機会としていただければと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

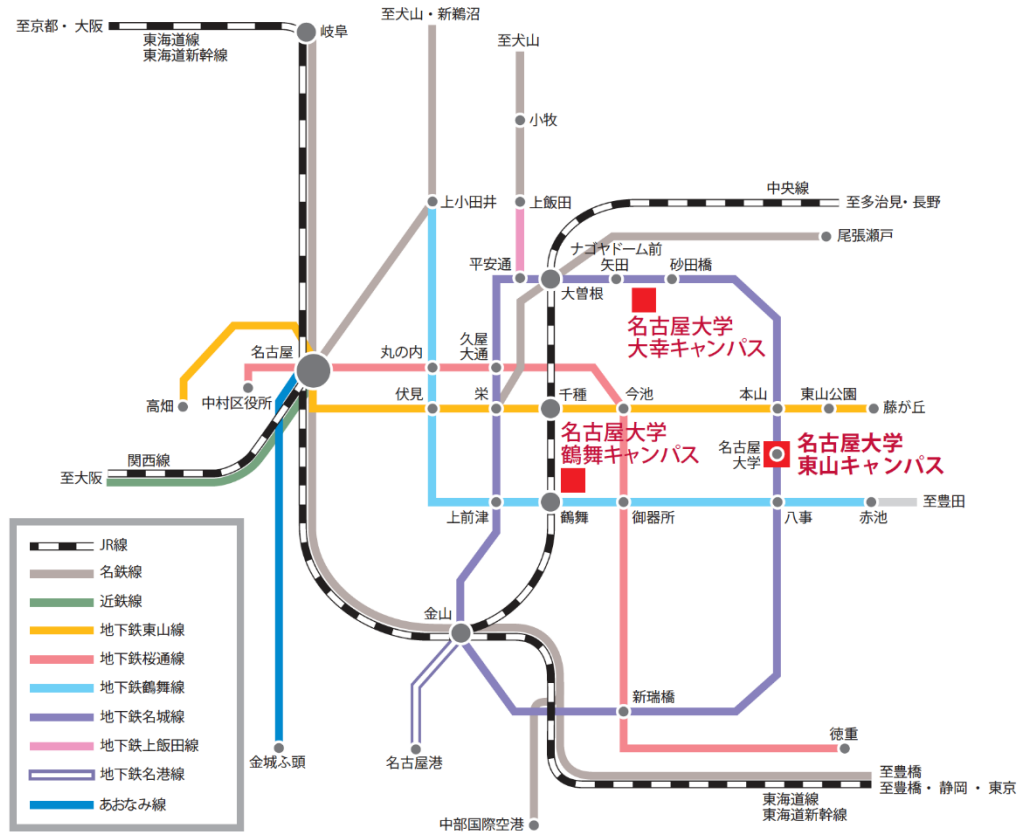
謹白

第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会/第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会

連合大会 大会長 松下 正

名古屋大学医学部附属病院 輸血部 教授・検査部長

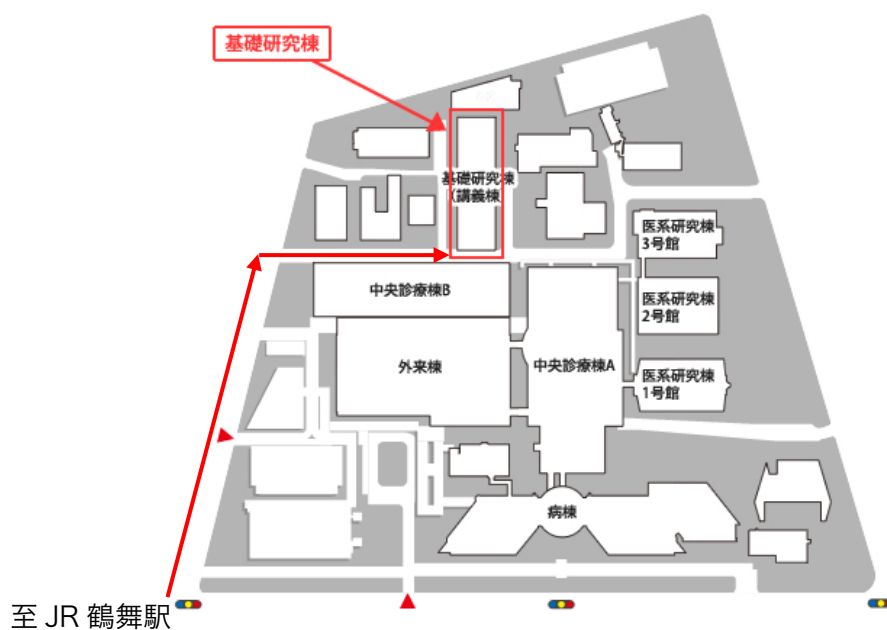
交通アクセス



鶴舞キャンパス [交通]

- JR中央本線「鶴舞駅」(名大病院口側)下車徒歩3分。
- 地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車徒歩8分。
- 市バス「栄」から栄⑱系統「妙見町」行きで「名大病院」下車。

鶴舞キャンパス・建物のご案内

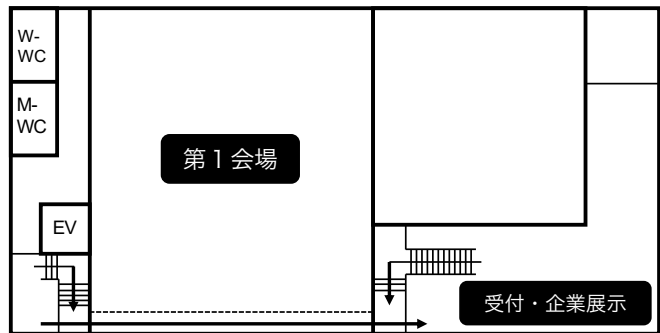


- 基礎研究棟へは、JR 中央線高架沿いに北上し通用門から敷地内へとお進みください（赤矢印）。
- 外来棟、病棟および中央診療棟等の通り抜けはできませんのでご注意ください。
- 会場は基礎研究棟3・4階です（受付は4階）。基礎研究棟内エレベーターをご利用ください。

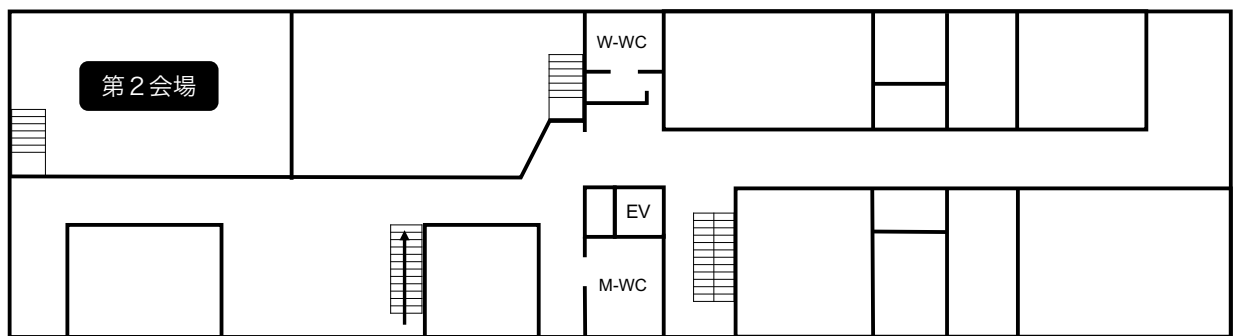
会場案内



4階



3階



参加者へのご案内

1. 参加者へのご案内

- ① 受付は基礎研究棟4階ロビーにて、3月2日（土）8：30より開始します。
- ② 参加者は受付で登録のうえ、ネームカードをお受け取りください。なお、ネームカードは会期中、必ず身につけていただきますようお願い致します。
- ③ 参加費は2,000円です。学生（社会人大学院生を除く）は、学生証提示で無料となります。
- ④ 抄録集は必ずご持参ください。ご希望の方は当日、実費（1,000円）で販売しますが、部数に限りがありますのでご了承ください。
- ⑤ ランチョンセミナーの整理券は8：30より受付にて先着順にて配布します。

2. 支部総会のご案内

支部総会は3月2日（土）13：00より第1会場（第4講義室）にて行います。

3. 試薬・機器展示

9：00～15：45の間、基礎研究棟4階ロビーにて常設します。

4. ドリンクコーナー

基礎研究棟4階ロビーにドリンクコーナーを設置しますのでご利用ください。

5. 臨床検査専門医認定・更新に係る講習会

シンポジウム「テクノロジーの進展は検査医学をどう変えるか」（第1会場、10：00～12：00）は、日本専門医機構 臨床検査専門医認定・更新のための「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。講習会では受講証明書が発行されます。証明書の配布は講習会開始15分後までとします。講習会終了後、書式の上半分を切り取り提出してください。

6. 座長の先生方へ

- ① 定刻 10 分前までに次座長席へお越しいただきお待ちください。定刻になりましたらセッションを開始願います。
- ② 担当時間内の時間厳守にご協力をお願いします。

7. ご発表の先生方へ

- ① すべての発表で使用する PC は Windows 10 搭載で、ソフトは PowerPoint 2013 で、プロジェクターは 1 台です。
- ② 発表データは USB メモリ等の電子媒体でご持参ください。なお、持参する USB メモリ等はあらかじめセキュリティソフトによるウイルスチェックを済ませてウイルス感染がないことをご確認ください。
- ③ 動画を含む発表の場合、リンク切れにご注意ください。発表スライドに合わせて動画ファイルをご持参いただくことをお勧めします。
- ④ Macintosh をご使用の場合は PC 本体をご持参ください。画面接続は D-sub15 となります。変換端子は各自でご用意をお願いいたします。
- ⑤ ファイル名は「演題番号_演者名.pptx」としてください。
- ⑥ 発表内容に個人が特定できるデータや写真等が無いよう注意してください。
- ⑦ お預かりしたデータは、大会終了後に責任をもって削除いたします。
- ⑧ 定刻前までに会場にお越しいただき、次演者席でお待ちください。スライド操作は各自でお願いいたします。
- ⑨ 一般演題の口演時間は 6 分、質疑応答は 2 分です。発表終了 1 分前に黄色ランプ、終了を赤ランプでお知らせします。発表時間の厳守にご協力をお願いします。

8. COI（利益相反）開示のお願い

- ① 演題発表時には利益相反の開示が必要です。
- ② 利益相反の有無をスライド 2 枚目に掲示してください。
- ③ 開示書式は下記よりダウンロードを行ってください。
<http://www.jslm.org/committees/coi/jslm.html>

9. その他

駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

大会日程表

	第1会場 (第4講義室)	第2会場 (第2講義室)
8:30	受付 (基礎研究棟4階ロビー)	
8:55-9:00	開会挨拶	
9:00	一般演題 (生理機能検査: 1-7)	一般演題 (免疫血清・輸血: 14-18)
10:00	シンポジウム 「テクノロジーの進展は検査医学をどう 変えるか」	
11:00		
12:00	ランチョンセミナー1 (共催: アボットジャパン株式会社)	ランチョンセミナー2 (共催: シスメックス株式会社)
13:00	支部総会	
13:30	特別講演 「災害時の臨床検査を考える」	
14:00		
14:30	機器・試薬セミナー	
15:00		
15:30	一般演題 (血液・凝固・遺伝子: 8-13)	一般演題 (基礎研究・微生物・一般・症例 : 19-24)
16:00		
16:30	閉会の辞	
16:35		

大会プログラム

一般演題

シンポジウム

特別公演

ランチオンセミナー

機器・試薬セミナー

第1会場（第4講義室）

9:00 – 10:00（一般演題：1 - 7）

平山正昭（名古屋大学医学部保健学科 病態解析学講座）

永田浩三（名古屋大学医学部保健学科 病態解析学講座）

1. 糖尿病性末梢神経障害における HbA1c と末梢神経伝導検査の最大上刺激の関連性

日下眞希¹、中村友彦²、大熊相子¹、住田佳陽¹、榊原久美子¹、金 沙玲¹、
鈴木敦夫¹、弘津真由子¹、藤澤嘉朗¹、永松美紗¹、安藤善孝¹、松下 正^{2,3}

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門、²名古屋大学医学部附属病院 検査部
³名古屋大学医学部附属病院 輸血部

2. 唾液メラトニン測定によるパーキンソン病の睡眠障害の検出

中村友彦^{1,2}、鈴木将史²、上田美紀²、今井絵里子²、勝野雅央²

¹名古屋大学医学部附属病院 検査部、²名古屋大学 脳神経内科

3. 入浴後の体拭きの間に発作を起こす乳児の発作時脳波を記録した一例

永松美紗¹、大熊相子¹、榊原久美子¹、弘津真由子¹、

安藤善孝¹、中村友彦²、松下 正^{2,3}

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門、²名古屋大学医学部附属病院 検査部
³名古屋大学医学部附属病院 輸血部

4. 潜在性呼吸器疾患早期診断に向けた現状評価

新村彩香¹、中出祐介¹、原 丈介²、永元健啓¹、中田晶子¹、宮嶋良康¹、

寺上貴子¹、大江宏康¹、森 三佳¹、林 研至¹、酒井佳夫¹、和田隆志¹

¹金沢大学附属病院 検査部、²金沢大学附属病院 呼吸器内科

5. Vector flow mapping による等容弛緩期の左室内圧較差測定

菊池祥平^{1,2}、下山田佳代¹、青木比早子¹、小岸充子¹、藤井久枝¹、鈴木優子¹、柄野小百合¹、塩
崎 舞¹、堀口恭子¹、大橋 実¹、佐藤 茂¹、井上貴子¹、大手信之²、田中靖人^{1,3}

¹名古屋市立大学病院 中央臨床検査部、

²名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

³名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学

6. 内頸動脈巨大仮性動脈瘤に対する治療効果判定に頸動脈エコーが有効だった一例

塩崎真弓¹、成瀬里恵¹、内山賢子¹、角田美鈴¹、横田綾¹、
上野智浩¹、原田健右^{1,2}、秋岡直樹³、北島勲^{1,2}

¹富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部

²富山大学医学薬学研究部 臨床分子病態検査学講座、³富山大学附属病院 脳神経外科

7. 当院における下肢静脈超音波検査の現状

齋藤清隆、前田文江、橋本儀一、大竹由香、古木裕美子、木戸口周平、井村敏雄、木村秀樹
福井大学医学部附属病院 検査部

第1会場（第4講義室）

10:00 – 12:00（シンポジウム）

「テクノロジーの進展は検査医学をどう変えるか」

本シンポジウムは、日本専門医機構認定基本領域 臨床検査専門医更新のための「臨床検査領域講習」2単位に認定されています。

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部 教授・検査部 部長）

1. 急性リンパ性白血病に対する次世代シーケンサーを用いた遺伝子診断およびキメラ抗原受容体遺伝子改変 T(CAR-T)細胞療法

高橋義行

名古屋大学大学院医学系研究科 小児科学 教授

2. 人工知能技術を用いた医療支援 – 医用画像診断支援の経験より

森 健 策

名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻・教授

名古屋大学情報基盤センター・センター長

国立情報学研究所医療ビッグデータ研究センター・客員教授

3. マイクロ・ナノメカトロニクスの進展と臨床検査への貢献に向けて

新井史人

名古屋大学 未来社会創造機構

大学院工学研究科マイクロ・ナノ機械理工学専攻 教授

第1会場（第4講義室）

12:10 – 13:00（ランチョンセミナー）

共催：アボットジャパン株式会社

座長：前川真人（浜松医科大学 臨床検査医学 教授）

アボット Alin IQ が検査室に貢献できること

奥山竜平

アボットジャパン株式会社 マーケティング部

第1会場（第4講義室）

13:30 – 14:30（特別講演）

座長: 中村栄男(名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学 教授)

災害時の臨床検査を考える

佐々木勝

元内閣官房参与・元東京都立広尾病院院長・日本大学危機管理学部 客員教授

第1会場（第4講義室）

14:30 – 15:30（機器・試薬セミナー）

座長: 上野智浩(富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部)

1. アリーア AutoReader

アリーアメディカル(株)

2. 免疫発光測定装置「ルミパルス® L2400」のご紹介

富士レビオ株式会社

3. 反応過程近似解析ツール MiRuDa 製品紹介

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

4. グリコヘモグロビン測定装置 ADAMS A1c HA-8190V ご紹介

アークレイマーケティング株式会社

第1会場（第4講義室）

15:30 – 16:30（一般演題：8-13）

今井正人（愛知医科大学病院 睡眠医療センター）

鈴木翔太（胎児生命科学センター 検査部）

8. シスメックス塗抹標本作製装置 SP-50 における染色性の検討

藤澤嘉朗¹、山本ゆか子¹、前田奈弥¹、亀山なつみ¹、
井上結以¹、江村玲香¹、安藤善孝¹、松下正²

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 輸血部・検査部

9. 凝固波形解析により可能となった新しいフィブリノゲン異常症鑑別法

鈴木敦夫¹、鈴木伸明²、兼松毅³、安藤善孝¹、松下正^{2,3}

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 輸血部、³名古屋大学医学部附属病院 検査部

10. ループスアンチコアグラント低プロトロンビン血症症候群（LAHPS）疑い症例におけるクロスミキシング試験の有用性～臨床医の視点から～

兼松毅¹、鈴木伸明²、岡本修一³、鈴木敦夫⁴、川上萌⁴、三田直美⁴、
田村彰吾⁵、安藤善孝⁴、小嶋哲人⁵、清井仁³、松下正²

¹名古屋大学医学部附属病院 検査部、²名古屋大学医学部附属病院 輸血部

³名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学

⁴名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

⁵名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻 病態解析学講座

11. 次世代シーケンサーを用いたクリニカルシーケンスの精度管理

中村麻姫、池尻誠、稲地元美、森本誠、杉本匡史、杉本和史、中谷中

三重大学医学部附属病院 中央検査部

12. Hypercool テクノロジーによる加水分解プローブを用いた MLH1 遺伝子プロモーター領域の解析

成瀬有純¹、菊池有純¹、澤村卓宏¹、野中健一²

¹社会医療法人大雄会医科学研究所、²総合大雄会病院

13. FISH 法による染色体検査における MetaSystems probes の有用性

滝谷実桜¹、前河晶子¹、深町美尋¹、大江宏康¹、森 三佳¹、酒井佳夫^{1,2}、和田隆志^{1,2}

¹金沢大学附属病院 検査部、²金沢大学大学院 腎病態統御学

第2会場（第2講義室）

9:00 – 10:00（一般演題：14-18）

座長：滝野 豊（北陸大学 医療保健学部）

石田秀和（岐阜大学病院 輸血部）

14. 「アーキテクト・U-NGAL」の基礎的性能及び検査前プロセス評価による運用の構築

度會理佳¹、菊地良介¹、後藤香緒里¹、濱崎美奈¹、安藤善孝¹、松下 正²

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 検査部・輸血部

15. リコンビナント抗原を用いたセロディア TPPA 改良試薬の評価

村 竜輝¹、佐々木陽祐¹、吉野直美¹、仁木裕子¹、山田依里¹、田中 佳¹、飯沼由嗣²

¹金沢医科大学病院 中央臨床検査部、²金沢医科大学 臨床感染症学

16. 関節リウマチ患者における疾患活動性とサルコペニアとの関連性

日比野 恵、渡邊恒夫、中山純里、高田彩永、林 智剛、大澤徳子、藤本伸吾、石田真理子、

伊藤大輔、松野寛子、細野裕未奈、関根綾子、篠田貢一、野久 謙、伊藤弘康

岐阜大学医学部附属病院 検査部

17. 重篤な心疾患を合併した抗 RuvBL1/2 抗体陽性びまん皮膚硬化型全身性強皮症の一例

北田真結¹、寺上貴子¹、林研至¹、濱口儒人²、森三佳¹、宮嶋良康¹、

中田晶子¹、中出祐介¹、大江宏康¹、酒井佳夫^{1,3}、和田隆志^{1,3}

⁰¹金沢大学附属病院 検査部、²金沢大学附属病院 皮膚科

³金沢大学大学院 腎病態統御学

18. A 抗原減弱に加え RhD 抗原減弱を認めた骨髄異形成症候群の一例

横山 覚¹、松岡弘樹¹、西田謙登¹、川上 萌¹、遠藤比呂子¹、渡邊友美¹、

加藤千秋¹、安藤善孝¹、松下 正²

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 検査部・輸血部

第2会場（第2講義室）

12:10 – 13:00（ランチョンセミナー）

共催：シスメックス株式会社

座長：中谷 中（三重大学医学部附属病院 中央検査部
/オーダーメイド医療部 部長・教授）

理研ジェネシスのゲノム医療の取り組み

岩壁賢治

株式会社理研ジェネシス

第2会場（第2講義室）

15:30 – 16:30（一般演題：19-24）

座長：原 祐樹（名古屋第二赤十字病院 医療技術部微生物検査室）
佐藤光夫（名古屋大学医学部保健学科 病態解析学講座）

19.当院における過去10年間のMRSAの検出状況と抗MRSA薬の感受性の推移

種村百合香、宮崎伸子

鈴鹿回生病院 臨床検査課

20.カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌およびカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の検出性能に関する選択培地の比較検討

林 謙吾¹、井口光孝²、長田ゆかり¹、嶋岡菜美¹、大藏照子¹、伊藤まゆみ¹、
齋藤美保¹、川村和光¹、猪飼理恵¹、八木哲也^{2,3}、安藤善孝¹、松下 正⁴

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部

³名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学

⁴名古屋大学医学部附属病院 検査部・輸血部

21. タイでの感染が推定された無鉤条虫症の一例

長尾侑紀¹、濱田悦子¹、太田悠介^{1,2}、難波剛正¹、石川仁子¹、名倉理教¹、

山出美穂子³、大澤 恵⁴、記野秀人⁵、山崎 浩⁶、杉本 健³、前川真人^{1,2}

¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部、²浜松医科大学医学部 臨床検査医学講座

³浜松医科大学医学部 内科学第一講座、⁴浜松医科大学医学部附属病院 光学医療診療部

⁵浜松医科大学医学部 ウイルス・寄生虫学講座、⁶国立感染症研究所 寄生動物部

22. 慢性骨髄性白血病に併発した持続勃起症に対して陰茎海綿体内血液ガス分析を行った一例

村瀬悠理¹、服部 光¹、濱崎美奈¹、松岡弘樹¹、後藤香緒里¹、度會理佳¹、

菊地良介¹、安藤善孝¹、松下 正²

¹名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門

²名古屋大学医学部附属病院 検査部・輸血部

23. 膜性腎症が合併した尿細管間質性腎炎の寛解中に急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) を発症した一例

安原大生¹、明田隼機¹、塚尾仁一¹、堀口孝泰¹、吉田治義¹、吉田美智子¹、高橋和人¹、

天谷直貴¹、小西 孝¹、川上悟司²、高橋直生³、岩野正之³、太田 諒⁴、内木宏延⁴

¹杉田玄白記念公立小浜病院 内科、²同 放射線科、³福井大学医学部 腎臓内科

⁴福井大学医学部 分子病理学

24. ジクロロ酢酸はミトコンドリア保護と Caspase8 経路の抑制を介してシスプラチン腎障害を軽減する

上山和子、今本 徹、竹内貴洋、武田 泉、増永慎也、

鳥居国雄、市川雅彦、井村敏、木村秀樹

福井大学医学部附属病院 検査部